

キャッチ番組審議会からのお知らせ

2020年12月に「2020年度 第2回 番組審議会」が開かれました。新型コロナウイルス感染者拡大状況を受け、書面開催とし、各委員様に番組を視聴いただき、コメントを頂戴しました。審議委員のお名前と会議の内容は以下の通りです。

■キャッチ番組審議委員

【刈谷市】丸山 靖司 委員／渡辺 多美子 委員 【安城市】鳥居 純 委員／筒木 麻三子 副委員長 【高浜市】横山 英樹 委員／神谷 美百合 委員
【知立市】高木 一恵 委員／岡田 浩 委員 【碧南市】羽野 彰 委員／茶谷 千芳 委員 【西尾市】鈴木 義宏 委員長／三浦 博美 委員

審議番組 KATCH スペシャル「みちくさ冒険隊 2020 ～森～」

議 題

- ・興味の持てる内容になっているか。
- ・キャッチに求める自然環境保全番組の役割とは。

●鈴木 委員長

綺麗な映像と出演者の鉄崎氏の語り口調はいつ見ても楽しい。専門的な知識もあり、身近な内容で話してくれる姿が良いと思う。時間と共に地域の自然の姿も変化していくなかで大切なのは、「自然環境を守る地域的な活動への参加」。キャッチに求める自然環境保全番組とは、自然保護の日常行動を地域に定着させることではないか。

●筒木 副委員長

番組をはじめて見たが、自然に触れることができ、さまざまな知識を学べる番組だと感じた。時折、癒されるバックミュージックにのせて素敵な自然の映像が流れるのも良かった。森の座談会の企画は良かったが、子どもの疑問などに答えるような場面があると、さらに興味が湧く内容になったのではないかと。未来を担う子どもたちこそ、自然環境保全について考えてもらうべきではないか。

●丸山 委員

大人だけではなく、子どもたちにとっても興味の湧く内容になっていた。木を倒すシーンでは計画的に木を伐採し、植林することで、それが海を守ることにもなると伝えていた良かった。環境問題を地球規模で捉えるのではなく、身近な目線からアプローチすることで、視聴者の具体的な行動につながるような番組作りをお願いしたい。

●渡辺 委員

むかし懐かしい風景や親子の交流に癒された。使い捨てが多い時代だからこそ、忘れられている気持ちを思い起こさせる、こういった番組作りを今後もお願いしたい。

●鳥居 委員

この番組は鉄崎氏のキャラクターの存在も大きいですが、親子の参加で一層、自然の楽しさをアピールすることができていると感じた。世の中コロナ一色だが、難しいことを並べたり、危機意識を煽ったりすることなく、自然体での番組作りを期待する。

●横山 委員

番組の狙いは理解できたが、子ども向けの映像が多く、興味が持てなかった。座談会もそれぞれの話が薄いように感じてしまったため、何に力点を置いているのか考える時間があると良いと思う。キャッチには、身近な自然に対してちょっとした気づきを知らせる番組を求めたい。

●神谷 委員

「海上の森」のシーンでは「愛・地球博」に賛成か反対かまで踏み込む必要はなかったのではないかと思う。番組のサブタイトルにもっと興味が湧くような工夫をすると良いと感じた。美しい映像で、「この自然を守らなければ」と感動させる番組作りを期待します。

●高木 委員

自然の中で、普段なら見過ごしてしまうことを、楽しく学ぶことができる番組だと感じた。はじめに自然の恵みの素晴らしさを伝えていたので、環境保全の大切さもスムーズに入ってきた。自身の周りにはファミリー層が多いため、アウトドア・自然体験×自然環境保全を今後も伝えてほしい。

●岡田 委員

「愛・地球博」と「海上の森」の関係についての説明が不足していると感じた。万博から16年も経過していると視聴者は忘れていると思う。出演者の林業従事者の方が「いい海といい森は相互作用の関係だ」と話しているシーンが心に響いた。

●羽野 委員

鉄崎氏の起用が良く、観察あり、体験あり、座談会ありの内容も興味深かった。今後は「自然と災害」をテーマにした番組制作をお願いしたい。

●茶谷 委員

親子が森の中で見つけた植物や虫の名前を教えてもらっていたシーンが、図鑑で名前を覚えるより興味が湧いて良かった。また、子どもが虫に刺されたときの処置方法について学ぶことができ良かった。今後も森林の大切さを伝える番組の提供を継続してほしい。

●三浦 委員

「愛知こどもの国」は、住んでいる地域の施設でもあり興味深く見た。普段行っている場所でも、鉄崎氏の案内で森にいる生き物や植物が分かりやすく紹介されていて、番組に引き込まれた。今後も自然環境を守る大切さを、視聴者や未来を担う子どもたちに番組を通して伝えてほしい。